

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公開番号】特開2017-91379(P2017-91379A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-223365(P2015-223365)

【国際特許分類】

G 06 K 9/20 (2006.01)

【F I】

G 06 K 9/20 3 4 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の異なる属性の領域を含む画像データから値を取得して出力する情報処理装置であつて、

前記画像データの中で、文字列で書かれた文字領域を特定する文字領域特定手段と、

前記文字領域の中にあるキー文字列を複数箇所で特定するキー文字列特定手段と、

前記複数箇所で特定したキー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件に合致する領域にある値を、前記出力するべく取得する取得手段と

を備え、

前記キー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件が設定された設定情報を予め記憶することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記位置条件は、前記キー文字列のある領域と前記値のある領域との間の方向に関する条件を含むことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

複数の異なる属性の領域を含む画像データから値を取得して出力する情報処理装置であつて、

前記画像データの中で、文字列で書かれた文字領域を特定する文字領域特定手段と、

前記文字領域の中にあるキー文字列を特定するキー文字列特定手段と、

前記特定したキー文字列に対応づけられた位置条件に合致する領域にある値を、前記出力するべく取得する取得手段と

を備え、

前記キー文字列に対応づけられた複数の位置条件が設定された設定情報を予め記憶することを特徴とする情報処理装置。

【請求項4】

前記複数の位置条件は、複数の異なる種類の位置条件であることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記複数の異なる種類の位置条件は、前記キー文字列のある領域と前記値のある領域との間の方向および間隔に関する条件を含むことを特徴とする請求項4に記載の情報処理装置

置。

【請求項 6】

前記特定された文字領域にある文字列が複数行の文字列か否かを判定する複数行判定手段と、

前記複数行判定手段により複数行と判定された場合に、行ごとの文字領域を生成する生成手段と

を更に備え、

前記キー文字列特定手段は、前記生成手段により生成された文字領域の中にあるキー文字列を特定することを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記文字領域は、ブロックセレクションにより得られた領域であることを特徴とする請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記設定情報を生成すべく、前記特定された文字領域を表示する表示手段と、

前記キー文字列のある領域を、前記表示手段で表示された文字領域から選択する第 1 の選択手段と、

前記値のある領域を、前記表示手段で表示された文字領域から選択する第 2 の選択手段と、

前記第 1 の選択手段により選択されたキーのある領域の領域情報と前記第 2 の選択手段により選択された値のある領域の領域情報に従って、前記キーのある領域に対応する前記値のある領域の位置を特定する特定手段と

前記特定手段により特定された位置を前記キー文字列に対応する前記位置条件として設定する設定手段と

を更に備えることを特徴とする請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記第 1 の選択手段で選択されたキーのある領域と、第 2 の選択手段で選択された値のある領域とを識別可能に表示する識別表示手段を更に備えることを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

複数の異なる属性の領域を含む画像データから値を取得して出力する情報処理装置の処理方法であって、

文字領域特定手段が、前記画像データの中で、文字列で書かれた文字領域を特定する文字領域特定ステップと、

キー文字列特定手段が、前記文字領域の中にあるキー文字列を複数箇所で特定するキー文字列特定ステップと、

取得手段が、前記複数箇所で特定したキー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件に合致する領域にある値を、前記出力するべく取得する取得ステップと

を備え

前記キー文字列に対応づけられた複数の位置条件が設定された設定情報を予め記憶することを特徴とする処理方法。

【請求項 11】

複数の異なる属性の領域を含む画像データから値を取得して出力する情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記画像データの中で、文字列で書かれた文字領域を特定する文字領域特定手段と、

前記文字領域の中にあるキー文字列を複数箇所で特定するキー文字列特定手段と、

前記複数箇所で特定したキー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件に合致する領域にある値を、前記出力するべく取得する取得手段

として機能させ、

前記キー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件が設定された設定情報を予め記憶

することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的を達成するための、複数の異なる属性の領域を含む画像データから値を取得して出力する情報処理装置であって、前記画像データの中で、文字列で書かれた文字領域を特定する文字領域特定手段と、前記文字領域の中にあるキー文字列を複数箇所で特定するキー文字列特定手段と、前記複数箇所で特定したキー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件に該当する領域にある値を、前記出力するべく取得する取得手段とを備え、前記キー文字列毎にそれぞれ対応づけられた位置条件が設定された設定情報を予め記憶することを特徴とする。